

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

**研究課題名：** コロナ禍における看護系大学生の  
人との関わりの変化とメンタルヘルスに関する研究

・はじめに

本研究は、コロナ禍において、看護系大学生の人との関わりがどのように変化したのか、また人との関わりの変化がメンタルヘルスにどう影響したのかを調査するものです。特に、入学して間もない時期に新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛を体験し、新たな生活環境下で友人を作ることや、教員との関わりが制約された1、2年生と、すでに大学生活の中で、他者との関係が形成されていた3、4年生では、メンタルヘルスへの影響に違いがあったのかどうかについても明らかにしたいと考えています。

その結果から、新たな人との関わりを形成することが困難な状況が生じた時に、どのようなサポートを行うことがメンタルヘルス上の問題を予防するのかについて、示唆を得たいと考えています。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

本調査の結果は、研究目的「コロナ禍において、看護系大学生の人との関わりがどのように変化したのか、また人との関わりの変化がメンタルヘルスにどう影響したのかを明らかにすること」のみに使用します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部保健学科看護学専攻に在学中の1～4年生約320名に回答を依頼しております。

なお1、2年生で、未成年の方の場合は、保護者の方が調査協力をお断りになることが可能です。学生がアンケート調査に協力することを希望されない保護者の方は、下記アンケート調査期日までに学生ご本人にご連絡をお願いします。

・研究期間

研究を行う期間は、医学部長承認日より2022年3月31日までです。

調査実施時期：医学部長承認から2021年 月 日までです。

#### ・研究に用いる試料・情報の項目

学生の方に、Google フォームによる無記名アンケートへご回答いただきます。

メールアドレスを収集しない設定であるため、個人が特定されることはありません。所要時間は約7分です。ただし、調査に協力するかどうかは、ご自身の自由な意思でお決めいただけます。研究に協力しないことによる不利益は、一切ありません。

アンケート用紙の内容は、前期(外出自粛で、オンライン授業中心だった時期)および現在(後期)における、一人との関わりの頻度に関する質問、不安に感じたことに関する質問、こころの健康状態に関する質問で、計26問です。

#### ・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

不利益として、アンケート用紙に回答するための時間的拘束が予測されます。得られる個人の利益は特にありません。なお調査協力に伴う経済的負担及び謝礼はありません。

#### ・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学医学部保健学科看護学専攻においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、研究協力者を特定できる情報は含まれません。

#### ・試料・情報の保管及び廃棄

回答済み無記名アンケート(Google フォーム)は、管理責任者(近藤浩子)の群馬大学アカウントで管理します。2021年12月31日にウェブ上から回答を消去し、Google フォーム自体も削除し、誰からもアクセスできない状態にします。

無記名アンケート(Google フォーム)の回答は、回答期限の翌日に Excel にダウンロードし、Excel ファイルを暗号化して管理責任者(近藤浩子)の暗号化 USB に保存します。暗号化 USB は、群馬大学保健学科南棟2階の精神看護演習室 HC2-20(管理者:近藤浩子)の鍵付きキャビネットに保管します。研究の中止または終了後から10年間のデータ保存期間終了後(2032年3月31日)、

再生不可能な状態にして廃棄します。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた知的財産、研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

研究資金は、大学法人運営費交付金でまかなわれます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態)と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

(ホームページアドレス: <https://www.rinri.amed.go.jp/> )

・研究組織について

この研究は、群馬大学医学部保健学科看護学専攻の4年生、および群馬大学大学院保健学研究科の教員によって行われます。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者 所属・職名: 群馬大学大学院保健学研究科・教授  
氏名: 近藤浩子  
連絡先: 027-220-7111 (内 8984)

研究実施者 所属・職名: 群馬大学医学部保健学科・看護学専攻4年  
氏名: 今村祐司

連絡先：027-220-7111(内 8984)

**・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について**

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、学生ご本人までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

**【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】**

所属・職名：大学院保健学研究科看護学講座教授

氏名： 近藤 浩子

連絡先：〒371-8514

群馬県前橋市昭和町3 - 39 - 22

Tel：027-220-7111（内 8984）

担当：近藤 浩子

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知  
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）  
利用し、または提供する試料・情報の項目  
利用する者の範囲  
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、お

よびその求めを受け付ける方法